

TRAIL

経済・景気動向調査報告「トレイル」

第85号 2024年6月28日発行

いわき市の経済・景気の動き

いわき市産業振興部

【全国景気動向】このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復！ 先行きは海外経済の先行き懸念等があるが、緩やかな回復が期待！

●「GDP」(24年第I Q=四半期。1次速報値*。5/16)の実質値は2Q振りのマイナス、名目値は2Q連続でプラスであった。個人消費は購買力低下で、設備投資は人手不足による供給制約で、それぞれ低調。輸出も“自動車認証不正”でマイナス、インバウンド増加でも補いきれなかった(統計上、輸出に計上)。なお、23年間成長率は前期比1.2%増で3年連続のプラス。

*2次速報値(6/10)は▲0.5%(年率▲1.8)に下方修正。

●「月例経済報告(5月)」(5/27)の基調判断は、4か月連続で据え置かれた。自動車生産の持ち直しが主因。なおGDPで個人消費はマイナスだが(上表)、これは耐久財の下落によるもので、消費マインドは改善している。

先行きは、雇用・所得で回復基調が続く。た

24/1-3月期' GDP(%)

区分	前期	今期
GDP(実質) (年率換算)	0.0 (0.0)	▲0.5 (▲2.0)
個人消費	▲0.4	▲0.7
設備投資	1.8	▲0.8
政府消費	▲0.2	0.2
公共投資	▲0.2	3.1
輸出	2.8	▲5.0
輸入	1.8	▲3.4

(前期：確報値。今期：速報値)

月例経済報告(5月)の概要

基調判断	足踏みがみられるが穏やかに回復
個人消費	持ち直しに足踏み
設備投資	持ち直しの動き
住宅投資	弱含んでいる
輸出	持ち直しに足踏み
輸入	概ね横ばい
生産	このところ持ち直しの動き
企業収益	総じて改善
雇用情勢	改善の動き
海外経済	持ち直し

目次

【全国景気動向】このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復！ 先行きは海外経済の先行き懸念等があるが、緩やかな回復が期待！

【いわき市景気動向】前期までの“回復基調”は“足踏み”に！

【経済・景気四方山記事】日本人83.7万人減、ゆらぐ制度設計等6件

I 経済・景気調査：2024年第I四半期(1~3月)

1. 経済の動き(主要部門別・主要経済データ)・・・2
2. 景気の動き(景気動向指数)・・・・・・・8

【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き

だし、中東地域の状況、物価上昇、金融資本市場の変動等に十分注意する必要がある、とされている。

【いわき市景気動向】

前期までの“回復基調”は“足踏み”に！

前期までの回復基調は、今期に至り足踏み状態に入った。直近の「景気ウォッチャー調査」(24/5)でも、“現状DI”及び“先行きDI”とも総じて低下している。

● 経済・景気調査

【需要動向】自動車登録がマイナスに転じた。新築住宅はマイナスが継続している。観光需要は伸び悩み。

(注)大型店舗販売のマイナスは、事業者・テナントの交代でデータが整わなかったことによる。

【企業動向】卸売市場取扱はそこそこ。輸入通関実績と法人市民税が軒並みマイナス。信用保証承諾額は減少したものの信用保証協会代位弁済が増加(以上2項目は原表参照)、企業倒産件数も8件(前期6件)等企業動向は足踏み。

【雇用動向】新規求人倍率は昨年秋から、有効求人倍率が暮れから、それぞれ低下。ただ雇用保険受給者数(原表参照)は減少傾向で雇用環境悪化には至っていない。

● 景気ウォッチャー調査(24年5月時点)

全業種の“現状DI”は46.2㊦、 “先行きDI”は51.1㊦で、ともに微減。分野別には微増の“サービス”を除き総じて低下している。

“自由意見”では、廃業店の増加、他県同業者の進出、物価高や原材料費高の影響等を懸念する向きに関する記載が目立っている。

(産業チャレンジ課)

いわき市の動向(R6/1-3月)

区分	前期%	今期%
個人消費	4.2	▲1.8
自動車登録	18.9	▲21.3
新設住宅	▲23.5	▲20.8
公共工事	75.7	136.5
観光需要	57.8	11.5
卸売市場取扱	2.6	▲0.2
輸入通関実績	▲46.6	▲31.4
法人市民税	▲14.8	▲9.9
企業倒産件数	6件	8件
新規求人倍率	2.37倍	1.81倍
有効求人倍率	1.41倍	1.33倍

注：)今期雇用はR6/9。前年同期比。

景気ウォッチャー調査抜粋('24/5)

区分	現状判断DI		先行判断DI	
	今回	差異	今回	差異
全業種	46.2	▲ 1.8	51.1	▲ 1.3
家計	47.9	▲ 1.6	54.7	▲ 1.8
小売	43.5	0.0	52.2	▲ 1.1
飲食	50.0	▲ 25.0	50.0	▲ 25.0
サービス	54.2	2.5	59.7	1.4
住宅	43.8	▲ 11.2	50.0	▲ 5.0
企業	44.2	1.9	42.3	1.9
雇用	35.0	▲ 15.0	40.0	▲ 3.8

【経済・景気四方山記事】

（原情報の要約・意識や筆者の解釈・所感を含む）

● “日本人 83.7 万人減、ゆらぐ制度設計！”

人口の著しい変化を示すデータが公表された。現状については、①人口は前年比 83.7 万人減で 50 年以降最大の落ち込み、②65 歳以上の高齢者は 29.1% と最高を更新、③生産年齢人口割合は 59.5% と 18 年以降 6 割を割ったまま、④外国人は前年比 24 万人増の最多を更新（以上総務省）。

将来では、①世帯数は 20 年の 5,570 万世帯から 30 年から減少し始め 50 年には 5,260 万世帯に、②1 人暮らし世帯は 20 年 38% から 50 年 44% に、③1 世帯当たり人数は 20 年 2.21 人から 50 年には 1.92 人に、など（以上「社人研」：政府系シンクタンク）。

今後、年金・介護等の医療福祉制度から生活インフラ、まちづくり等地域政策等にわたる制度設計の見直しや新企画設計が問われる（24/4/13 日経新聞）

● 高齢者買い物難民は 4 人に 1 人！

65 歳以上の高齢者の買い物難民（居住地からスーパーやコンビニまでの距離が 500m 以上あり、自動車の使用が難しい状況にある人）は、同年代の総人口のうちの 25% を超えている。これの対策として行政は、①コミュニティバス、乗り合いタクシーの運行、②移動販売車の導入・運営、③空き店舗の出店・運営、④宅配・御用聞き・買い物代行サービス、などを行っている。

一方民間も全市町村の 62% で対応しており、上記の④、②、①、③（多い順）に加え、朝市・青空市場の運営、共食・会食等協働食事サービス等を行っている（農林水産研究所調べ）。（4/23 日経新聞）

* 福島県の食料品アクセス困難人口は、60 歳以上で 22.9%（全国平均 25.6%）、70 歳以上で 67.5%（同 62.6%）。

● 自治体の約 4 割が“消滅可能性”！

「人口戦略会議」（民間組織）は、全国の市区町村のうち 4 割超が消滅する可能性がある*との報告書を発表した。“消滅可能性”とは“50 年までに若年女性人口が半分以下になる”744 自治体をいう。

これに対するマクロ対策である市町村合併、道州制導入等自治体再編は、大きな困難を伴うことから、現実的には、①デジタル化を通じた自治体業務の共通化、広域連携等を進める、②行政コストを下げるため、コンパクトシティや市街地への集住を進める、などを早急に進める必要がある。（24/4/25 日経新聞。4/26 同紙社説）

* 福島県の“消滅可能性自治体”は、会津若松市、白河市、喜多方市、二本松市、田村市、伊達市、桑折町、国見町、川俣町、天栄村、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、猪苗代町、会津坂下町、三島町、金山町、会津美里町、泉崎村、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町。

● 地域存続へ自前主義を貫け！

まちづくり分野で造詣が深い、木下 斉氏*の“直言”には学ぶべき点が多い。根源的な時代変化としては、①現状維持ではなく取り込めるものは取り込むように変わってきた、②2 世代下に任せられるようになってきて若手が起業化しやすくなってきたので、③これからは若手を後押ししていくべき、など。具体的には、①人口減に合わせた社会に変える、②小さくても稼げるまちに、③自治体は自主判断で地域戦略を立てる、④成功事例の追従はやめる（成功事例はすぐ陳腐化する）、などが示唆に富む。（24/5/5 日経新聞“直言”）

*（一社）エリア・イノベーション・アライアンス（まちづくり関連事業の設立、経営や事業連携等の支援組織）代表理事。内閣官房地域活性化伝道師等を歴任。内閣大臣賞等受賞多数。著書は「まちづくりの経営力養成講座」等多数。

● 「二地域居住促進法」が改正！

UIJ ターンを中心に二地域居住（都市部と地方部に拠点をもち、日常は都市部で仕事を、定期的に地方部でのんびり過ごす、というようなライフスタイル）のニーズが高まっている。

これを受け今般の法改正は、①市町村特定居住促進計画制度（空き家改修、コワーキングスペース整備等を予算措置）と②特定居住促進法人指定制度（支援法人の活動を予算措置）を創設するもの。

今後は、これによる関係人口の創出・拡大等が一層促進されることが期待される。（5/17 日経新聞）

● 【いわき市発】攻めの事業承継＝「いわき次世代経営者塾」始まる！

市内の若手経営者・後継者 11 名を塾生とする「いわき次世代経営者塾」が開講された。塾頭は一橋大学名誉教授・関満博氏。講師陣は超一流の経営者やマーケティング・財務等専門家等で構成されている。来年 3 月までの間、社会経済の実態、経営ノウハウ、先進優良事例等が盛り込まれた 12 のカリキュラムを学ぶことになる。

塾生はこれらの学びを通じ、経営者としての覚悟を決め、優れた経営者として育ってもらいたい。（5/31 いわき市産業チャレンジ課）

東日本国際大学名誉教授 大川信行

I 経済・景気調査：令和6年第 I 四半期（1～3月）

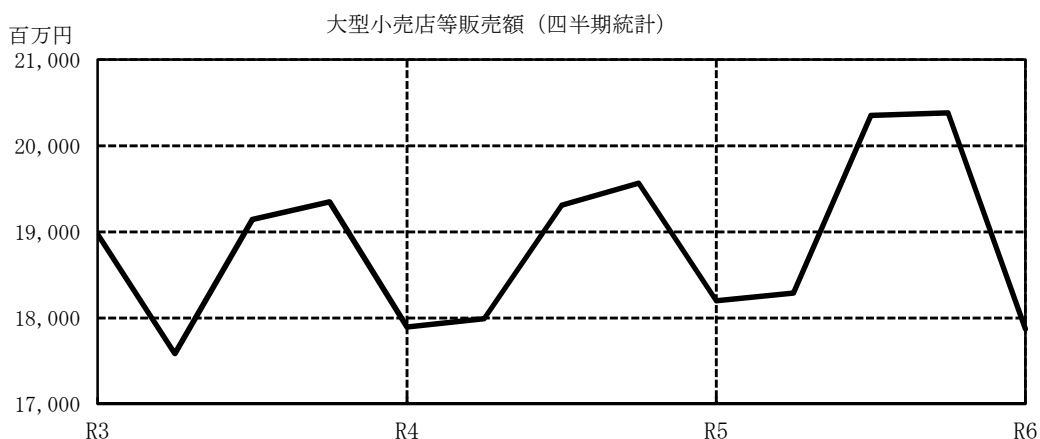
1 いわき市の経済の動き

（1） 主要部門の動向（令和6年第 I 四半期（1～3月）の状況）

① 需要動向

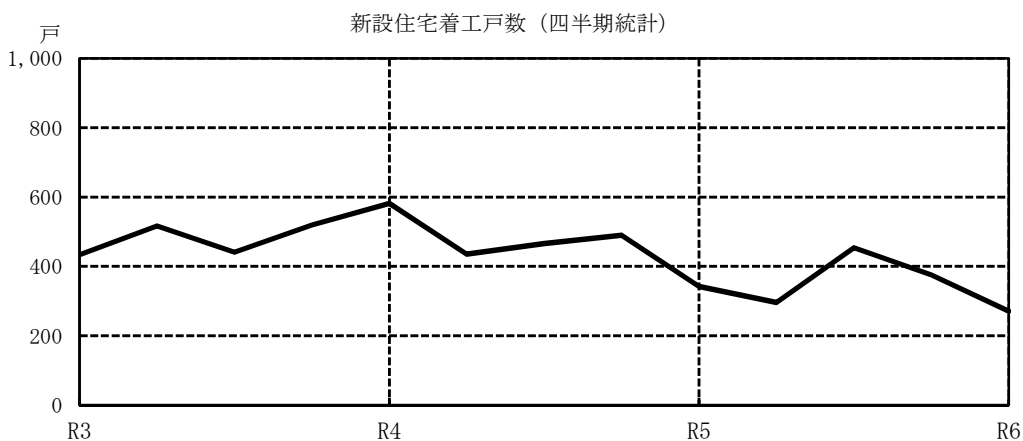
【個人消費】 ○ 第 I 四半期（1～3月）の大型小売店等販売額は約179億円（前年同期比1.8%の減少）となり、8四半期振りに前年の水準を下回った。

○ 自動車新規登録台数は4,012台（前年同期比21.3%の減少）となり、7四半期振りに前年の水準を下回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は271戸（前年同期比20.8%の減少）となり、6四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 公共工事等受注額は約81億円（前年同期比136.5%の増加）となり、2四半期連続で前年の水準を上回った。

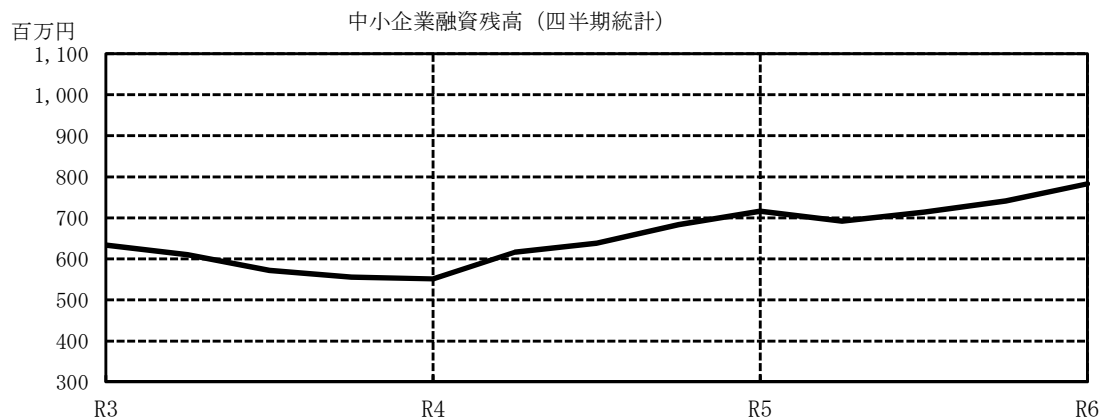


【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、68.7（前年同期比11.5%の上昇）となり、令和4年第 I 四半期以降、9四半期連続で前年の水準を上回った。

② 企業動向

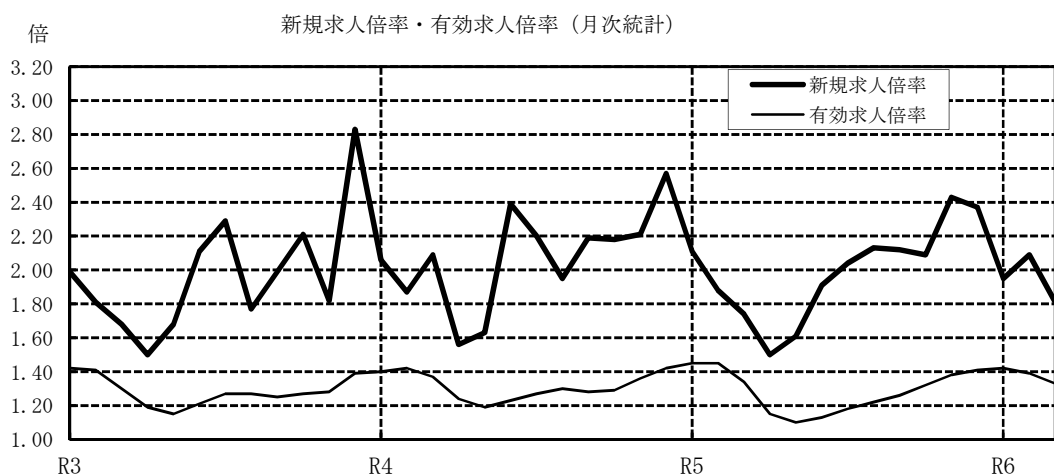
- 第Ⅰ四半期（1～3月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約34億円（前年同期比0.2%の減少）となり、令和3年第Ⅲ四半期以降、10四半期振りに前年の水準を下回った。

- 【企業活動】
- いわき市中小企業融資残高は約7.8億円（前年同期比9.4%の増加）となり、8四半期連続で前年の水準を上回った。
 - 負債1千万円以上の企業倒産件数は8件（前年同期比166.7%の増加（＝悪化））となり、3四半期振りに前年の水準を上回った。



③ 雇用情勢

- 【雇 用】
- 3月の新規求人倍率は1.81倍（前年同月より0.07ポイントの上昇）となり、2ヵ月連続で前年の水準を上回った。
 - 3月の有効求人倍率は1.33倍（前年同月より0.01ポイントの低下）となり、4ヵ月連続で前年の水準を下回った。
 - 第Ⅰ四半期（1～3月）の雇用保険受給者実人員は3,075人（前年同期比4.5%の減少(=改善)）となり、3四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。



(2) 主要経済データ

区 分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小 売店等 販売額	前年 同期比	自動車 新規登 録台数	前年 同期比	新設住 宅着工 戸数	前年 同期比	建築確 認申請 受付件 数	前年 同期比	公共工 事等受 注額	前年 同期比	観光施設利 用者指数 (H24・四 半期平均 =100)	前年 同期比	入湯税 調定人 員	前年 同期比
年 月	(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)		(%)	(人)	(%)
【年次統計】														
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	367	-6.9	640,323	-5.6
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3
令和4年	74,755	-0.4	15,143	-7.2	1,973	3.2	1,176	9.2	34,321	-60.9	271	53.1	407,735	35.3
令和5年	77,220	3.3	17,639	16.5	1,467	-25.6	1,310	11.4	25,367	-26.1	352	30.1	548,789	34.6
【四半期統計】														
令和4年 II	17,992	2.3	3,128	-16.5	435	-15.9	294	7.7	5,685	-9.1	62.6	71.1	86,525	71.3
III	19,308	0.9	3,643	1.3	466	5.7	314	16.3	13,321	0.1	95.1	100.8	122,725	42.8
IV	19,562	1.1	3,777	10.0	490	-5.6	329	29.0	4,788	-68.1	69.8	13.3	110,006	2.4
令和5年 I	18,198	1.7	5,098	10.9	342	-41.2	241	0.8	3,413	-67.6	61.7	42.0	142,714	61.3
II	18,288	1.6	3,935	25.8	296	-32.0	357	21.4	6,235	9.7	70.7	12.9	122,181	41.2
III	20,353	5.4	4,114	12.9	454	-2.6	385	22.6	7,307	-45.1	110.1	15.7	139,990	14.1
IV	20,381	4.2	4,492	18.9	375	-23.5	327	-0.6	8,412	75.7	110.1	57.8	143,904	30.8
令和6年 I	17,873	-1.8	4,012	-21.3	271	-20.8	314	30.3	8,071	136.5	68.7	11.5	131,586	-7.8
【月次統計】														
令和4年4月	5,930	3.3	1,047	-17.9	224	28.0	111	32.1	1,695	-2.5	16.8	49.6	27,481	68.8
5月	6,116	1.1	968	-18.4	68	-58.8	63	-26.7	159	-89.5	26.4	102.9	28,930	71.3
6月	5,946	2.6	1,113	-13.2	143	-19.2	120	16.5	3,831	27.4	19.4	57.0	30,114	73.6
7月	6,518	2.0	1,218	-9.8	188	27.9	81	-10.0	4,614	-7.5	26.0	23.5	31,467	12.8
8月	6,737	0.7	994	-8.1	100	-35.1	117	46.3	4,158	46.2	43.8	162.9	37,199	12.4
9月	6,053	-0.2	1,431	22.9	178	27.1	116	16.0	4,549	-17.0	25.3	162.4	54,059	116.7
10月	6,273	2.7	1,209	19.8	147	-21.0	116	31.8	2,580	-76.1	25.1	40.5	44,320	34.3
11月	6,171	5.4	1,394	3.9	120	0.8	116	33.3	1,171	13.8	21.8	0.7	43,306	24.3
12月	7,118	-3.6	1,174	8.3	223	4.2	97	21.3	1,037	-67.6	23.0	3.5	22,380	-43.5
令和5年1月	6,134	2.6	1,442	10.8	89	-72.4	82	13.9	216	-87.5	19.0	16.4	58,444	47.6
2月	5,639	0.8	1,548	12.3	98	-21.6	91	33.8	684	-74.2	17.2	83.9	35,888	9.7
3月	6,425	1.6	2,108	10.1	155	15.7	68	-31.3	2,513	-59.2	25.5	43.5	48,382	199.6
4月	6,058	2.2	1,292	23.4	87	-61.2	102	-8.1	1,234	-27.2	20.1	20.3	45,605	66.0
5月	6,235	1.9	1,234	27.5	66	-2.9	113	79.4	491	209.5	29.2	10.4	37,374	29.2
6月	5,995	0.8	1,409	26.6	143	0.0	142	18.3	4,510	17.7	21.3	10.0	39,202	30.2
7月	6,809	4.5	1,315	8.0	123	-34.6	146	80.2	2,775	-39.9	29.7	14.3	36,886	17.2
8月	7,148	6.1	1,176	18.3	119	19.0	133	13.7	1,479	-64.4	54.8	25.0	40,640	9.3
9月	6,396	5.7	1,623	13.4	212	19.1	106	-8.6	3,053	-32.9	25.6	1.2	62,464	15.5
10月	6,372	1.6	1,645	36.1	110	-25.2	110	-5.2	4,749	84.0	29.7	18.5	46,919	5.9
11月	6,112	-1.0	1,585	13.7	150	25.0	120	3.4	2,046	74.7	54.8	151.7	49,675	14.7
12月	7,897	10.9	1,262	7.5	115	-48.4	97	0.0	1,617	56.0	25.6	11.6	47,310	111.4
令和6年1月	5,941	-3.1	1,203	-16.6	92	3.4	92	12.2	1,594	638.0	21.3	12.2	43,048	-26.3
2月	5,741	1.8	1,184	-23.5	84	-14.3	98	7.7	383	-44.0	20.5	19.6	40,149	11.9
3月	6,190	-3.7	1,625	-22.9	95	-38.7	124	82.4	6,094	142.5	26.9	5.5	48,389	0.0
出典：	いわき市産業 チャレンジ課		いわき自動車検査登 録事務所、全国軽自 動車協会連合会いわ き支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支部		いわき市産業 チャレンジ課(市内 主要観光施設 の利用者数を 指数化)		いわき市市民 税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。

四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高	前年 同期比	小名浜港 輸入通関 実績	前年 同期比	いわき 市中小 企業融 資残高	前年 同期比	いわき 市中小 企業融 資利率	前年 同月比	信用保 証承諾 額	前年 同期比	信用保 証協会 代位弁 済	前年 同期比	法人市 民税調 定額	前年 同期比
年 月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】														
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1	4,101	-19.8
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	4,199	2.4
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	3,312	-21.1
令和4年	14,883	6.8	624,189	75.8	622	5.0	1.77	-0.3	21,406	-42.2	738	234.8	3,577	8.0
令和5年	16,040	7.8	530,374	-15.0	716	15.0	1.62	-0.2	26,677	24.6	932	26.3	3,359	-6.1
【四半期統計】														
令和4年 II	3,302	0.4	160,831	106.5	616	0.9	1.33	-0.85	3,471	-50.6	50	168.7	1,199	-2.0
III	3,711	8.4	166,716	56.2	639	11.6	2.03	0.21	5,912	-2.3	242	473.0	726	-15.7
IV	4,720	11.8	193,735	91.2	684	23.1	1.78	-0.43	5,488	5.0	180	289.1	1,193	42.8
令和5年 I	3,446	9.4	152,954	48.6	716	29.9	1.99	-0.03	8,506	30.1	223	-15.8	502	9.3
II	3,740	13.3	133,582	-16.9	692	12.3	1.21	-0.12	4,815	38.7	117	132.1	985	-17.8
III	4,011	8.1	140,384	-15.8	714	11.8	1.99	-0.04	6,906	16.8	255	5.2	857	17.9
IV	4,843	2.6	103,454	-46.6	741	8.4	1.28	-0.50	6,450	17.5	337	86.7	1,016	-14.8
令和6年 I	3,440	-0.2	104,991	-31.4	783	9.4	1.97	-0.02	6,270	-26.3	384	72.1	452	-9.9
【月次統計】														
令和4年4月	1,141	0.7	54,696	111.8	580	-6.7	1.20	-1.00	927	-74.0	0	-	114	3.5
5月	1,093	-1.0	51,007	106.6	630	3.0	1.68	-0.52	1,245	-3.4	38	-	283	-3.6
6月	1,068	1.7	55,128	101.3	639	6.8	1.10	-1.05	1,298	-40.3	12	-34.3	802	-2.2
7月	1,275	1.3	46,274	61.0	632	9.2	2.12	-0.08	1,702	-16.5	102	665.6	342	-18.9
8月	1,278	13.3	60,189	78.8	628	7.6	2.20	0.65	1,411	-0.7	4	-37.7	295	-13.2
9月	1,158	11.9	60,253	36.0	655	18.5	1.77	0.07	2,800	8.0	136	513.1	89	-10.6
10月	1,256	10.1	67,536	57.5	683	26.4	1.70	-	1,420	10.1	141	-	113	43.8
11月	1,280	6.5	56,208	112.6	673	19.0	2.20	0.00	1,496	-2.7	7	33.3	993	41.3
12月	2,184	16.4	69,991	118.9	694	24.1	1.43	-0.78	2,572	7.3	33	-20.8	87	59.5
令和5年1月	1,089	6.3	50,374	33.0	700	26.8	2.00	0.05	1,529	26.1	2	-95.6	91	-17.7
2月	1,072	9.9	45,458	67.0	733	35.2	2.20	-	2,294	42.1	90	-56.5	125	-5.4
3月	1,284	11.8	57,122	51.0	715	27.8	1.76	-0.33	4,682	26.2	132	895.8	285	32.3
4月	1,217	6.7	38,877	-28.9	701	21.0	1.03	-0.18	1,116	20.4	1	-	151	32.6
5月	1,260	15.3	47,170	-7.5	694	10.2	1.55	-0.13	1,655	32.9	116	205.3	304	7.5
6月	1,264	18.3	47,535	-13.8	681	6.5	1.05	-0.05	2,044	57.4	0	-100.0	530	-33.9
7月	1,375	7.8	42,781	-7.5	679	7.4	2.10	-0.02	2,799	64.4	215	110.1	400	16.8
8月	1,334	4.4	42,704	-29.1	703	11.8	1.95	-0.25	2,343	66.1	33	678.3	370	25.6
9月	1,302	12.4	54,899	-8.9	760	15.9	1.92	0.15	1,764	-37.0	7	-94.8	86	-3.2
10月	1,303	3.7	19,947	-70.5	750	9.8	1.50	-0.20	1,862	31.1	158	12.5	138	22.6
11月	1,334	4.2	33,244	-40.9	731	8.5	1.28	-0.93	1,565	4.6	148	2,037.8	792	-20.3
12月	2,206	1.0	50,263	-28.2	743	7.0	1.05	-0.38	3,024	17.6	30	-7.6	86	-1.4
令和6年1月	1,038	-4.7	35,018	-30.5	787	12.4	1.70	-0.30	1,776	16.2	217	10,712.8	103	13.1
2月	1,170	9.2	28,343	-37.7	776	5.8	2.00	-0.20	2,033	-11.4	91	1.5	124	-0.7
3月	1,232	-4.1	41,630	-27.1	787	10.0	2.20	0.44	2,460	-47.4	25	-80.7	225	-21.2
出典：	いわき市中央 卸売市場（水 産）		横浜税関		いわき市産業戦略課（年次 統計は12カ月の平均値、四半 期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月 は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき市市民 税課（法人税 割）	

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。

四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分	企業動向									
	倒産				中小企業DI調査					
	企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比						
年 月	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】										
令和元年	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
令和4年	13	30.0	1,714	24.7	-	-	-	-	-	-
令和5年	16	23.1	4,649	171.2	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】										
令和4年 II	1	-50.0	477	189.1	-	-	-	-	-	-
III	2	0.0	137	-74.9	-	-	-	-	-	-
IV	6	50.0	522	11.8	-	-	-	-	-	-
令和5年 I	3	-25.0	95	-83.6	-	-	-	-	-	-
II	5	400.0	2,871	501.9	-	-	-	-	-	-
III	2	0.0	165	20.4	-	-	-	-	-	-
IV	6	0.0	1,518	190.8	-	-	-	-	-	-
令和6年 I	8	166.7	1,480	1,457.9	-	-	-	-	-	-
【月次統計】										
令和4年4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
6月	1	-	477	-	0.0	-44.0	-25.0	-50.0	22.2	-12.5
7月	1	0.0	127	-51.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
9月	0	-100.0	0	-100.0	-21.9	-25.0	9.1	-11.1	25.0	-12.5
10月	3	50.0	220	89.7	-	-	-	-	-	-
11月	2	0.0	292	-16.8	-	-	-	-	-	-
12月	1	-	10	-	-22.6	-42.9	-7.7	-42.9	12.5	-19.7
令和5年1月	0	-100.0	0	-	-	-	-	-	-	-
2月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
3月	3	50.0	95	-55.4	-30.0	-40.0	-22.2	-25.0	0.0	-25.3
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
6月	5	400.0	2,871	501.9	-14.2	-10.0	-18.2	-70.0	-11.1	-22.1
7月	1	0.0	15	-88.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	150	1,400.0	-	-	-	-	-	-
9月	0	-	0	-	-23.4	-37.5	-27.3	-50.0	-12.5	-28.3
10月	2	-33.3	270	22.7	-	-	-	-	-	-
11月	3	50.0	516	76.7	-	-	-	-	-	-
12月	1	0.0	732	7,220.0	-24.1	16.6	0.0	-44.4	0.0	-16.6
令和6年1月	3	-	320	-	-	-	-	-	-	-
2月	4	-	650	-	-	-	-	-	-	-
3月	1	-66.7	510	436.8	-6.9	0.0	-41.7	-20.0	-12.5	-14.7
出典：	東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興センター（前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比（各月末時点）） 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計において I は1～3月、II は4～6月、III は7月～9月、IV は10～12月を示す。

区 分 年 月	雇用						その他					
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)			
	(倍)	前年 同期比 (%p)	(倍)	前年 同期比 (%p)	(人)	前年 同期比 (%)	(千台)	(%)	家計動向	企業動向	雇用関連	総合
【年次統計】												
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-
令和4年	2.02	0.03	1.31	0.03	14,068	-5.0	7,855	5.8	-	-	-	-
令和5年	1.97	-0.05	1.27	-0.04	13,914	-1.1	8,331	6.1	-	-	-	-
【四半期統計】												
令和4年 II	-	-	-	-	3,484	-8.1	1,955	9.4	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,885	-3.1	2,087	15.6	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,451	-1.8	2,066	1.6	-	-	-	-
令和5年 I	-	-	-	-	3,220	-0.9	1,936	10.8	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,513	0.8	2,018	3.2	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,796	-2.3	2,218	6.2	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,385	-1.9	2,159	4.5	-	-	-	-
令和6年 I	-	-	-	-	3,075	-4.5	2,038	5.3	-	-	-	-
【月次統計】												
令和4年4月	1.56	0.06	1.24	0.05	1,109	-10.9	647	6.1	-	-	-	-
5月	1.63	-0.05	1.19	0.04	1,084	-9.4	667	16.3	52.5	56.3	58.3	53.8
6月	2.39	0.28	1.23	0.02	1,291	-4.4	641	6.3	-	-	-	-
7月	2.20	-0.09	1.27	0.00	1,256	-7.4	689	3.8	-	-	-	-
8月	1.95	0.18	1.30	0.03	1,369	-0.4	727	25.5	47.8	45.5	45.8	47.2
9月	2.19	0.20	1.28	0.03	1,260	-1.6	671	19.3	-	-	-	-
10月	2.18	-0.03	1.29	0.02	1,198	-1.4	705	7.4	-	-	-	-
11月	2.21	0.39	1.36	0.08	1,140	0.3	679	-0.3	46.0	33.9	54.2	44.1
12月	2.57	-0.26	1.42	0.03	1,113	-4.1	681	-2.0	-	-	-	-
令和5年1月	2.11	0.05	1.45	0.05	1,093	0.4	625	4.9	-	-	-	-
2月	1.88	0.01	1.45	0.03	1,052	2.4	594	18.3	55.0	39.6	55.0	51.8
3月	1.74	-0.35	1.34	-0.03	1,075	-5.0	717	10.4	-	-	-	-
4月	1.50	-0.06	1.15	-0.09	1,083	-2.3	663	2.5	-	-	-	-
5月	1.61	-0.02	1.10	-0.09	1,202	10.9	702	5.4	61.3	45.3	50.0	56.9
6月	1.91	-0.48	1.13	-0.10	1,228	-4.9	653	1.7	-	-	-	-
7月	2.04	-0.16	1.18	-0.09	1,258	0.2	733	6.4	-	-	-	-
8月	2.13	0.18	1.22	-0.08	1,326	-3.1	800	10.1	56.1	36.7	53.6	51.8
9月	2.12	-0.07	1.26	-0.02	1,212	-3.8	684	1.9	-	-	-	-
10月	2.09	-0.09	1.32	0.03	1,225	2.3	721	2.3	-	-	-	-
11月	2.43	0.22	1.38	0.02	1,111	-2.5	719	5.8	54.2	38.3	50.0	50.4
12月	2.37	-0.20	1.41	-0.01	1,049	-5.8	719	5.6	-	-	-	-
令和6年1月	1.95	-0.16	1.42	-0.03	1,057	-3.3	660	5.6	-	-	-	-
2月	2.09	0.21	1.39	-0.06	1,044	-0.8	649	9.2	56.5	40.4	43.8	52.4
3月	1.81	0.07	1.33	-0.01	974	-9.4	729	1.8	-	-	-	-
出典：	ハローワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業チャレンジ課(H30.1調査開始)景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。			

2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和6年第Ⅰ四半期（1～3月）の状況）

（１）ＣＩ（コンポジット・インデックス）

① 概要

3月のCIは、先行指数が87.6、一致指数が96.0、遅行指数が92.8となった。

② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】 3月は87.6ポイントで、5ヵ月ぶりに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、自動車新規登録台数（5ヵ月振り）、建築確認申請受付件数（2ヵ月振り）等の6指標、マイナスの指標は、新規求人倍率（3ヵ月振り）、いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI（2ヵ月振り）の2指標であった。

【一致指数】 3月は96.0ポイントで、2ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、公共工事受注額（2ヵ月振り）、有効求人倍率（2ヵ月振り）等の6指標、マイナスの指標は、大型小売店等販売額（2ヵ月振り）、高速道路出入交通量（6ヵ月振り）等の3指標であった。

【遅行指数】 3月は92.8ポイントで、2ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、いわき市中小企業融資利率（4ヵ月連続）、雇用保険受給者実人員（逆）（2ヵ月振り）等の6指標、マイナスの指標は、いわき市中央卸売市場取扱高（2ヵ月振り）の1指標であった。

※ＣＩの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

③ 指数の推移及び寄与度の内訳（ＣＩの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年＝100）

区 分		令和5年									令和6年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
先 行 指 数（Ｃ．Ｉ）		95.8	95.2	100.5	98.7	100.3	95.0	96.9	96.0	87.2	84.5	84.4	87.6
前月差(ポイント)（寄与度合計）		5.49	-0.60	5.35	-1.82	1.6	-5.32	1.95	-0.97	-8.77	-2.65	-0.14	3.23
先行 系列 寄与 度 内 訳	1. 自動車新規登録台数	3.36	-0.28	0.82	-2.92	2.41	-0.20	3.84	-3.76	-0.51	-3.30	-2.06	1.84
	2. 新設住宅着工戸数	-2.93	0.49	1.56	-0.65	0.52	1.54	-2.31	1.41	-1.27	0.06	-0.68	0.47
	3. 建築確認申請受付件数	3.69	0.88	0.32	1.74	-1.75	-2.73	0.77	1.28	-0.92	0.12	-0.30	1.10
	4. 鉱工業在庫率指数（逆）	0.16	-1.86	1.44	-0.55	0.12	0.96	0.03	-1.24	-1.17	-0.87	0.95	0.44
	5. 中小企業DI（全業種）	-0.01	-0.02	0.46	-0.01	-0.01	-3.84	0.05	0.05	-2.17	0.09	0.09	0.31
	6. 新規求人倍率	1.20	-1.26	0.66	0.49	1.78	-1.09	-0.42	1.54	-3.02	1.15	1.32	-1.16
	7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	-0.03	1.43	-0.04	-0.04	-1.58	-0.04	-0.04	-0.42	-0.01	-0.01	0.44	-0.03
	8. 一致指数トレンド成分	0.07	0.00	0.14	0.11	0.12	0.09	0.03	0.17	0.30	0.12	0.09	0.26
一 致 指 数（Ｃ．Ｉ）		91.7	88.4	89.1	89.9	90.4	90.0	90.4	90.7	94.1	91.6	92.4	96.0
前月差(ポイント)（寄与度合計）		-3.96	-3.28	0.69	0.87	0.50	-0.40	0.32	0.38	3.33	-2.46	0.79	3.58
一 致 系 列 寄 与 度 内 訳	1. 公共工事受注額	-0.22	0.21	0.39	-0.96	-1.55	-0.93	1.41	0.55	0.36	0.81	-0.15	1.78
	2. 観光施設利用者指数	-0.09	0.34	-0.45	0.61	0.49	-1.05	1.65	1.71	-1.69	0.19	0.13	-0.36
	3. 大型小売店等販売額	0.11	-0.06	-0.24	0.76	0.34	-0.10	-0.88	-0.55	1.70	-1.73	1.07	-1.23
	4. 鉱工業生産指数	0.36	-1.42	0.85	-0.14	-0.11	-0.23	0.36	-1.67	1.72	-1.72	1.73	0.35
	5. 鉱工業出荷指数	-0.14	-1.36	0.71	-0.17	0.00	0.36	-0.09	-1.06	0.86	-0.85	0.74	0.59
	6. 小名浜港輸入通関実績	-0.90	0.46	0.11	-0.06	-0.12	0.58	-1.71	1.71	1.07	-0.84	-0.47	1.01
	7. いわき市中小企業融資残高	-1.77	-1.69	-0.90	0.20	1.04	0.95	-1.50	-0.35	-0.39	1.21	-1.52	0.96
	8. 有効求人倍率	-1.14	0.03	0.20	0.32	0.45	0.70	0.73	-0.16	-0.51	0.19	-0.91	1.15
	9. 高速道路出入交通量	-0.16	0.19	0.03	0.32	-0.05	-0.68	0.35	0.21	0.23	0.29	0.17	-0.65
遅 行 指 数（Ｃ．Ｉ）		87.8	86.9	87.6	87.5	87.0	90.0	87.5	85.4	90.1	87.2	91.2	92.8
前月差(ポイント)（寄与度合計）		-1.91	-0.92	0.72	-0.08	-0.46	2.95	-2.50	-2.07	4.70	-2.93	3.99	1.58
遅 行 系 列 寄 与 度 内 訳	1. 入湯税調定人員	0.81	-1.06	0.08	-0.20	0.42	0.40	-0.25	0.27	-0.88	-0.95	0.77	0.16
	2. いわき市中央卸売市場取扱高	-1.99	1.87	0.63	-1.47	-0.97	2.43	-1.57	-0.17	0.28	-2.28	2.68	-2.07
	3. 鉱工業在庫指数	-0.48	-0.37	-0.14	0.34	-0.06	-0.40	-0.15	-0.54	2.75	-0.81	0.66	0.86
	4. いわき市中小企業融資利率	0.06	0.38	0.17	0.16	-0.56	1.04	-1.05	-1.54	0.82	0.57	0.76	1.32
	5. 法人市民税調定額	-0.13	-0.69	-1.88	1.84	0.51	-0.83	1.32	-1.27	0.83	-0.15	-0.59	0.02
	6. 雇用保険受給者実人員（逆）	-0.24	-1.05	1.73	-0.86	0.08	0.24	-0.83	1.02	0.61	0.57	-0.38	1.01
	7. 一致指数トレンド成分	0.06	0.00	0.12	0.10	0.11	0.08	0.03	0.15	0.29	0.13	0.10	0.27

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

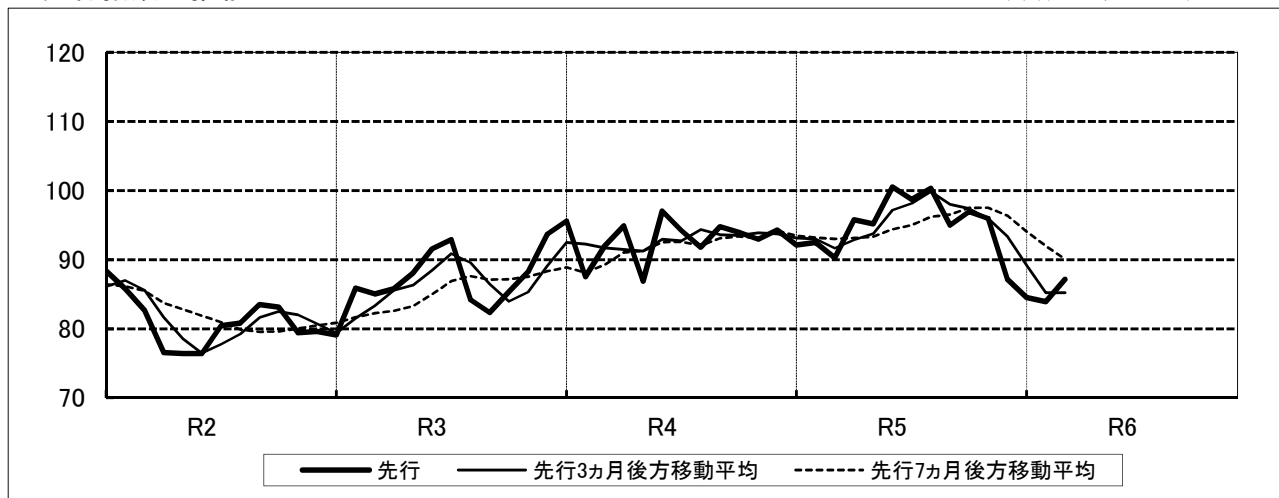
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

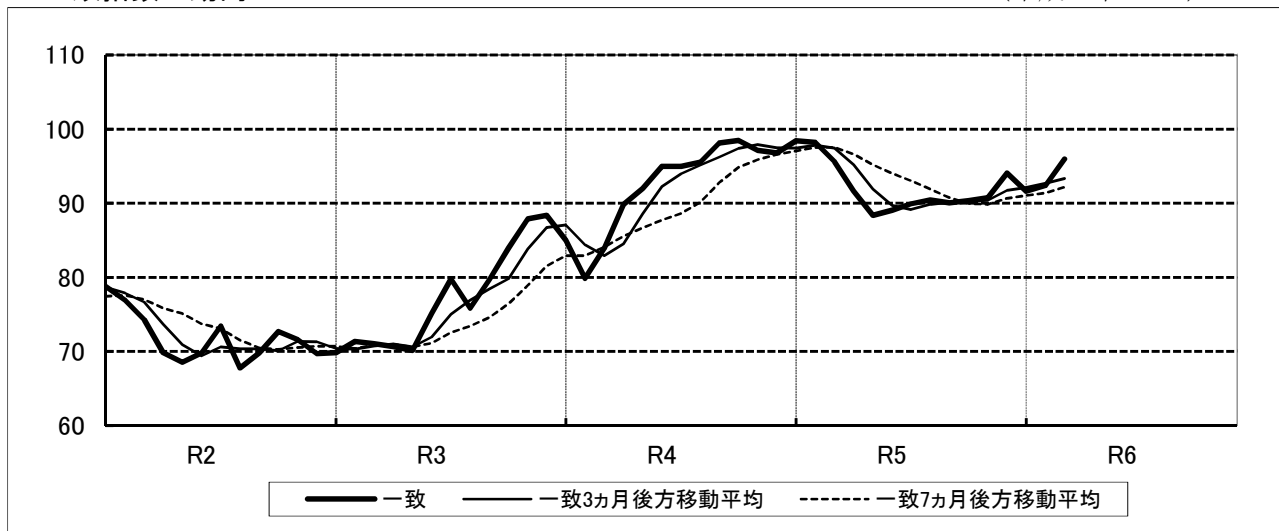
・先行指数の推移

(平成27年=100)



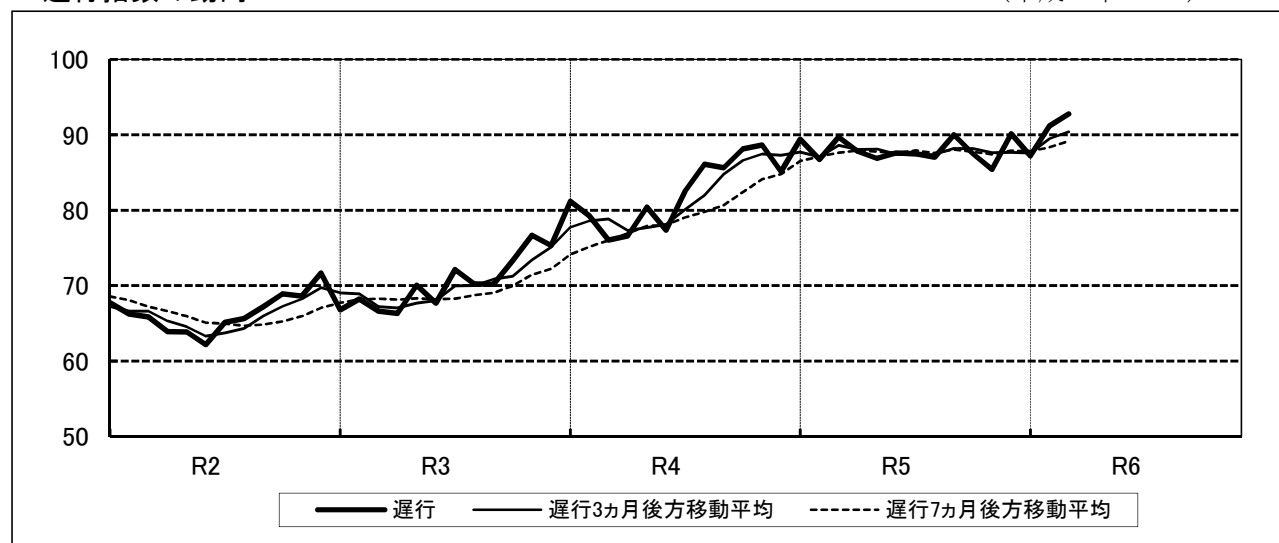
・一致指数の動向

(平成27年=100)



・遅行指数の動向

(平成27年=100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
27	109.3	100.8	105.2	99.5	97.4	100.1	99.8	98.8	98.5	98.8	98.8	92.9
28	95.2	89.8	84.2	91.2	90.5	85.9	91.7	87.2	82.7	87.7	87.3	90.6
29	85.7	88.5	89.4	91.6	89.5	96.0	89.6	94.9	96.7	90.7	90.0	95.2
30	94.5	93.1	91.2	92.7	93.3	92.1	90.9	91.1	86.4	89.5	94.0	89.7
1	89.2	95.6	93.0	90.9	91.6	90.8	87.6	87.3	88.8	82.9	83.0	86.8
2	88.4	85.8	82.7	76.6	76.4	76.4	80.4	80.8	83.5	83.1	79.4	79.6
3	79.1	85.9	85.0	85.8	88.1	91.6	92.9	84.2	82.4	85.3	88.2	93.7
4	95.6	87.6	92.0	94.9	86.9	97.0	94.2	91.8	94.8	93.9	93.0	94.3
5	92.1	92.5	90.3	95.8	95.2	100.5	98.7	100.3	95.0	96.9	96.0	87.2
6	84.5	84.4	87.6									

・一致指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
27	103.1	101.9	101.0	102.4	101.8	99.6	100.8	101.1	100.9	96.9	95.9	94.5
28	94.2	93.1	87.2	90.1	87.0	90.1	91.1	87.7	90.3	94.6	97.2	98.3
29	96.0	95.9	96.7	95.7	96.6	95.5	91.2	92.3	91.1	89.0	90.8	93.5
30	90.6	90.6	88.3	86.6	86.8	82.4	80.2	81.7	80.2	79.8	77.8	75.0
1	78.3	80.8	80.8	84.6	81.2	78.1	76.1	77.9	78.3	73.7	79.3	77.9
2	78.8	76.9	74.3	69.9	68.6	69.8	73.4	67.8	69.8	72.7	71.6	69.7
3	69.9	71.4	71.0	70.7	70.1	75.1	79.8	75.9	79.7	84.0	87.9	88.4
4	85.0	79.8	83.9	89.8	92.0	95.0	95.0	95.5	98.1	98.5	97.1	96.8
5	98.4	98.2	95.6	91.7	88.4	89.1	89.9	90.4	90.0	90.4	90.7	94.1
6	91.6	92.4	96.0									

・遅行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
27	100.9	100.8	106.2	103.3	102.5	98.9	100.9	98.5	99.3	98.9	95.0	94.8
28	93.7	97.8	93.7	92.7	90.6	89.1	88.6	89.9	87.9	89.5	87.0	85.9
29	88.7	82.3	86.4	83.3	79.6	78.9	78.2	76.0	79.6	77.0	79.1	81.3
30	77.0	76.7	80.5	78.6	83.8	82.1	79.0	79.0	81.9	80.2	77.3	75.9
1	76.4	73.7	72.7	70.2	69.4	71.3	69.9	72.0	67.8	68.7	68.2	65.9
2	67.7	66.2	65.9	63.9	63.9	62.2	65.1	65.7	67.2	68.9	68.6	71.7
3	66.8	68.3	66.6	66.3	70.1	67.7	72.1	70.2	70.2	73.3	76.7	75.3
4	81.2	79.3	76.0	76.6	80.4	77.4	82.6	86.1	85.6	88.1	88.6	85.1
5	89.4	86.8	89.7	87.8	86.9	87.6	87.5	87.0	90.0	87.5	85.4	90.1
6	87.2	91.2	92.8									

(2) DI (デフレーション・インデックス)

① 概要

【先行指数】 3月は、57.1%と7ヵ月振りに50%を上回った。

【一致指数】 3月は、55.6%と2ヵ月連続で50%を上回った。

【遅行指数】 3月は、66.7%と2ヵ月連続で50%を上回った。

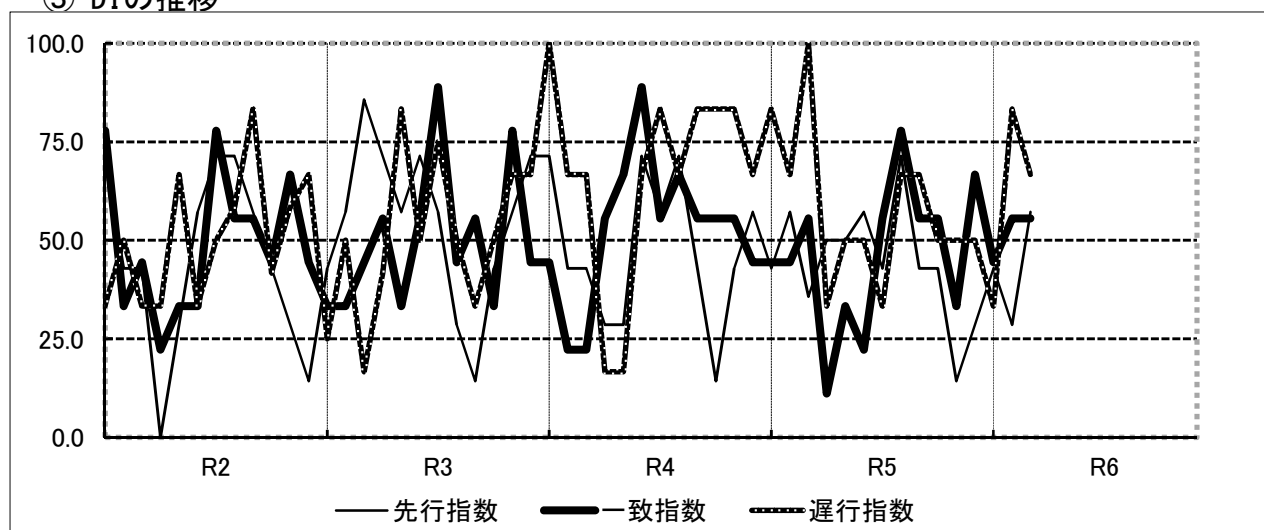
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (一景気動向指数利用の手引き-参照)

② DIの推移

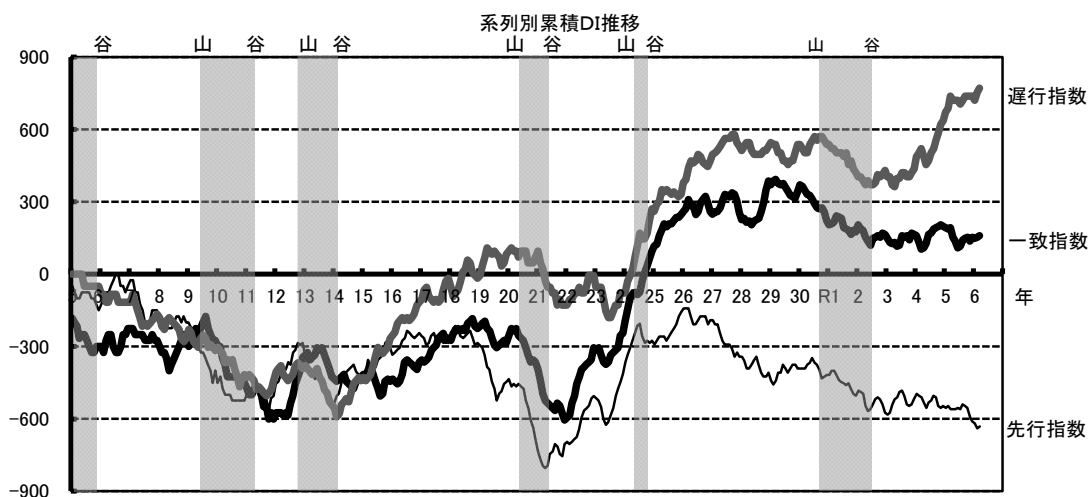
区 分	令和5年									令和6年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
先 行 指 数 (D . I)	50.0	50.0	57.1	42.9	71.4	42.9	42.9	14.3	28.6	42.9	28.6	57.1
一 致 指 数 (D . I)	11.1	33.3	22.2	55.6	77.8	55.6	55.6	33.3	66.7	44.4	55.6	55.6
遅 行 指 数 (D . I)	33.3	50.0	50.0	33.3	66.7	66.7	50.0	50.0	50.0	33.3	83.3	66.7

注) DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(6指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

累積DI(t)=累積DI(t-1)+(DI(t)-50)

注2) DI及び累積DIは景気の方角性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-200を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

-景気動向指数利用の手引き-

(1) 景気動向指数の概要

- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方方向性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。

- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

(2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

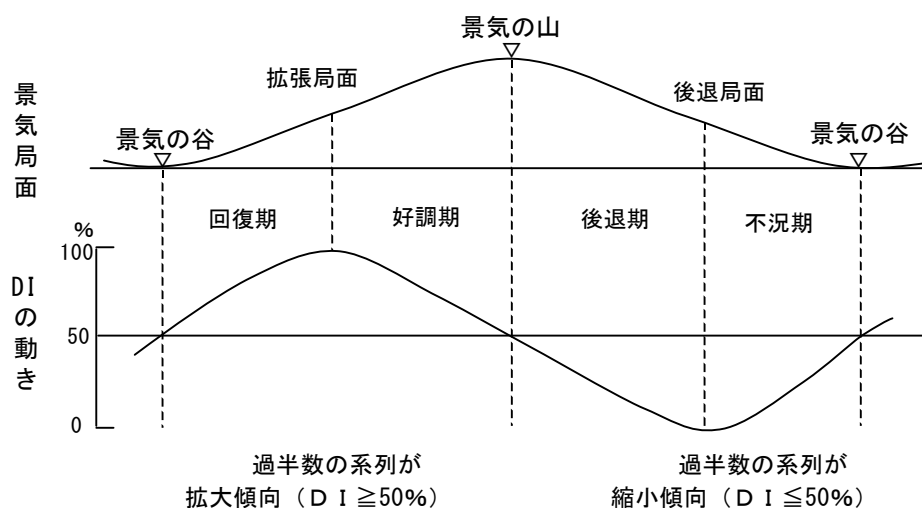
- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlを参照）。

- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

(3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば $3 \div 9 = 0.333$ （DI=33.3%）と計算する。

- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



(4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10.	R2. 5.

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項 目			内 容	原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合ー減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワーク平
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業チャレンジ課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第Ⅰ四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業チャレンジ課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業チャレンジ課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワーク平
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	5 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	6 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワーク平

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期) 原数値、移: 12ヵ月移動平均

逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

【参考】国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	(我が国経済の基調判断) 景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。 ・個人消費は、持ち直しの足踏みがみられる。 ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・輸出は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。 ・生産は、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、生産活動が低下していたが、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・企業収益は、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、改善している。ただし、製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響がみられる。 ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。 ・消費者物価は、緩やかに上昇している。 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。 (内閣府「月例経済報告」令和6年5月公表分)
(2) 県の動向	県内の景気は、足踏み状態となっている。 ・個人消費……一部に弱い動きがみられる。 ・建設需要……一部に弱い動きがみられる。 ・生産活動……一進一退の状況が続いている。 ・雇用・労働……一部に弱い動きがみられる。 ・物 価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。 ・企業・金融……企業倒産件数、負債総額はともに前年を上回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。 (福島県「最近の県経済動向」令和6年5月公表分)

2 景気動向指数(CI)

(1) 国の動向	3月のCI(速報値・令和2(2020)年=100)は、先行指数:111.4、一致指数:113.9、遅行指数:106.2となった。 先行指数は、前月と比較して0.7ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.40ポイント上昇し、4ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.22ポイント上昇し、8ヵ月連続の上昇となった。一致指数は、前月と比較して2.4ポイント上昇し、3ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.67ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.19ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。遅行指数は、前月と比較して0.6ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.26ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.07ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。 (内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和6年5月公表分)
(2) 県の動向	1 概 括 3月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数99.2ポイント、一致指数68.9ポイント、遅行指数99.7ポイントとなった。 先行指数は、前月(98.7ポイント)を0.5ポイント上回り、2ヵ月連続の上昇となった。 一致指数は、前月(68.4ポイント)を0.5ポイント上回り、2ヵ月連続の上昇となった。 遅行指数は、前月(102.6ポイント)を2.9ポイント下回り、3ヵ月振りの下降となった。 2 一致指数の動向 寄与度がプラスの系列 有効求人倍率、生産財出荷指数、雇用保険受給者実人員、鉱工業生産指数 寄与度がマイナスの系列 最終需要財出荷指数、所定外労働時間指数(全産業)、建築着工床面積(鉱工業)、百貨店・スーパー販売額(既存店) (福島県「福島県景気動向指数」令和6年5月公表分)

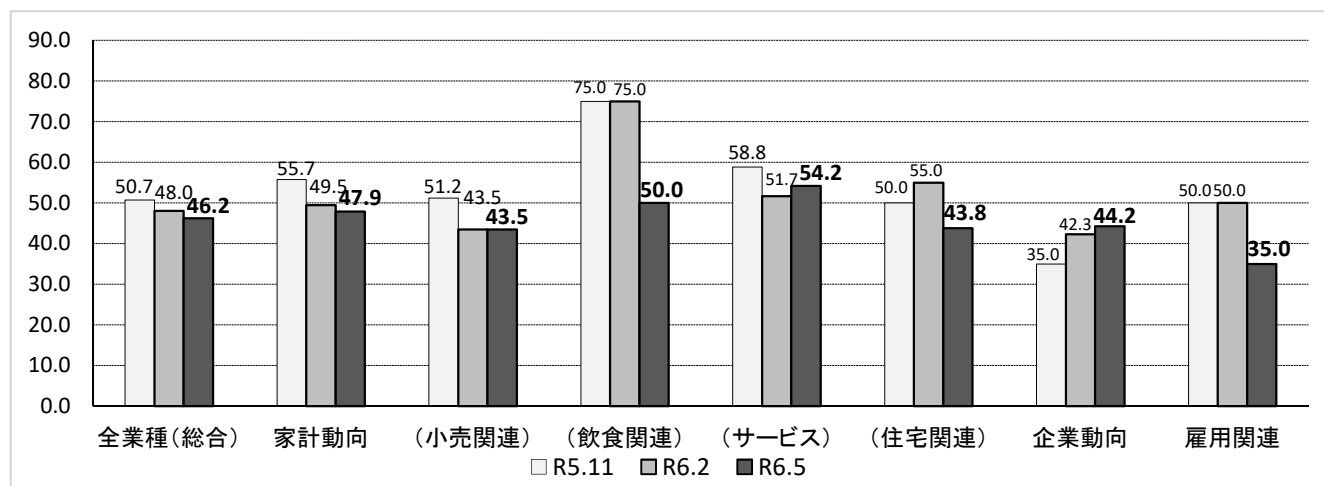
Ⅱ いわき市景気ウォッチャー調査：令和6年5月時点

1 景気の現状について

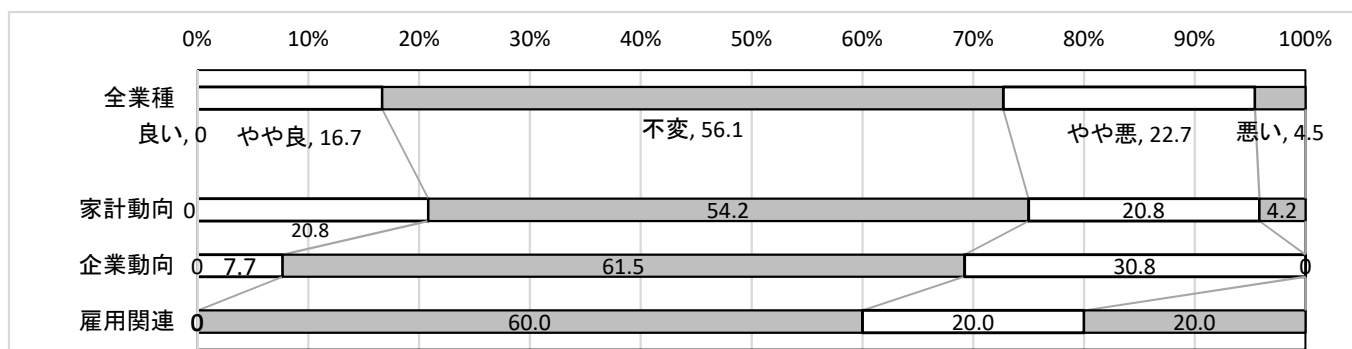
(1) 現状判断DI

○ 全業種（総合）の現状判断DIは46.2と、前回より1.8ポイント低下した。内訳では、企業動向が上昇、家計動向、雇用関係が低下した。

○ 主要業種別では、家計動向が47.9と前回より1.6ポイント低下した。家計の内訳では、サービスが上昇し、小売が横ばい、飲食、住宅関連が低下した。企業動向は44.2と1.9ポイント上昇、雇用関連は35.0と15.0ポイントの低下となった。



○ 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は0%であり、「やや良くなっている」が16.7%、「変わらない」が56.1%、「やや悪くなっている」が22.7%、「悪くなっている」が4.5%となった。



(2) 現状判断の理由

現状判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「取引先の様子」、雇用関連では「求職者数の動き」「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

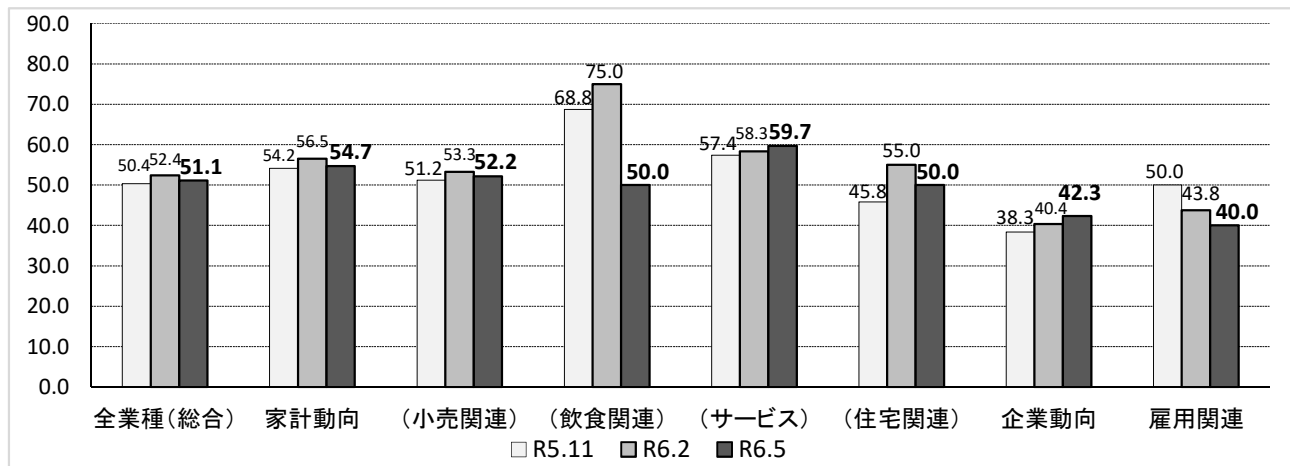
項 目 (家計)	良い	不変	悪い	合計	項 目 (企業)	良い	不変	悪い	合計	項 目 (雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	4	12	6	22	1. 受注量や販売量	0	3	1	4	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	5	6	4	15	2. 受注価格や販売価格	0	1	0	1	2. 求職者数の動き	0	2	0	2
3. 単価の動き	0	1	0	1	3. 取引先の様子	1	4	1	6	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	1	4	2	7	4. 競争相手の様子	0	0	2	2	4. 周辺企業の動き	0	1	1	2
5. 競争相手の様子	0	1	0	1	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	0	1	1
6. その他	0	2	0	2										
合 計	10	26	12	48	合 計	1	8	4	13	合 計	0	3	2	5

2 景気の先行きについて

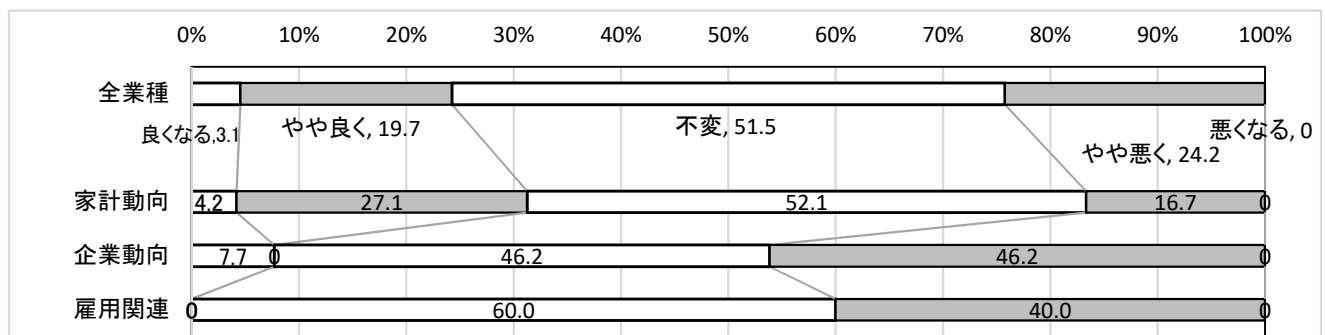
(1) 先行き判断DI

○ 全業種（総合）の先行き判断DIは51.1と、前回より1.3ポイント低下した。内訳では、企業動向が上昇し、家計動向及び雇用関連が低下した。

○ 主要業種別では、家計動向が54.7と前回より1.8ポイント低下した。家計の内訳では、サービスが上昇し、小売、飲食、住宅関連が低下した。企業動向は42.3と1.9ポイント上昇し、雇用関連は40.0と3.8ポイント低下した。



○ 全業種（総合）の回答内容をみると、2～3ヵ月先には「良くなる」は3.1%であり、「やや良くなる」が19.7%、「変わらない」が51.5%、「やや悪くなっている」が24.2%、「悪くなっている」が0%となった。



(2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「取引先の様子」、雇用関連では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	7	11	2	20	1. 受注量や販売量	1	2	1	4	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	7	6	1	14	2. 受注価格や販売価格	0	0	2	2	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	0	0	1	1	3. 取引先の様子	0	4	3	7	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	1	5	3	9	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	2	1	3
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	0	1	1
6. その他	0	3	1	4										
合 計	15	25	8	48	合 計	1	6	6	13	合 計	0	3	2	5

3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

(街の様子)

- 駅前商店街、昨年から今年にかけて廃業されるお店が数店あり、人の流れも変化してきている。
- 週末、人、車の流れが全然ない。

(消費動向、景気動向)

- 各種イベントやお集まり会など、おでかけの機会が増え、消費も多くなっている傾向。今後もさらに期待したい。
- 若い人は、動きの変化がわかりやすく、早い。年配の方々は、シフトチェンジがむずかしそうである。
- 弊社は季節商売で閑散期。
- 燃料に関しては、車の性能の向上もあり、販売数量は減少傾向にある。来店客においても前年横並びか減少傾向にある。
- 定額減税で若干の動きを期待。
- 定額減税は何の役にも立たない。消費税の減税なら効果はあるかもしれない。
- 景気に関して、直近は変動がないが、建設業など仕事が著しく減っていることから、今後景気が悪くなると思われる。
- 建設業関連と、ゼロゼロ融資の返済困難先が弊所でも増えてきていることから、景気はやや悪いとした。

(物価高、経営課題)

- 物価高を痛切する。
- 物価の高騰が響いている。
- 値上げが続く以上、お客様の財布は固く閉じられる傾向である。
- 顧問先の顧問料の支払い状況が悪くなっていること、物価高における顧問料の値上げ要請をしたところ、顧問契約のお断りをされたりと、絶対に必要ではないコストの削減の対象となっている。
- 昨年来から光熱費の値上げ、原材料費の値上げが続き、単価収益が悪化。客単価を値上げしてもそれを上回る形での値上げラッシュ。お客様のプランも安いプランを選択。物価に見合う値上げは、私たち零細業者では難しく、収益の悪化は避けられない。有効な手を打てないのが現状である。
- これからのポイントは、コスト増を販売単価に反映させ、それでも尚売上げを増加できるかである。個々の会社の経営力、営業力が試されている。
- 関係先は、ほとんど営業利益が赤字であり、これからV字回復をどうしていくか、コロナの真ただ中では、公的な施策が数多くあったが、そういった施策がなくなった今、事業所はさらに大変になるのではないかと予測される。
- 業界に支援金頂き有難い。
- 他県からの同業者が来て大型物件など注文を受注してしまい困っている。
- 市場全体としては、依然厳しい状況だが同業で提携や合併を進めて拡大していくしかないと感じる。

－ いわき市景気ウォッチャー調査の概要 －

(1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

(2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連76人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計107人を調査客体とする。
今回（令和6年5月）の調査の回答数は66人（有効回答率61.7%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	76人	71%	48人	
小売関連	34人	32%	23人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	7%	3人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	25人	23%	18人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	4人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	13人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	5人	人材派遣、職業紹介等
合 計	107人	100%	66人	

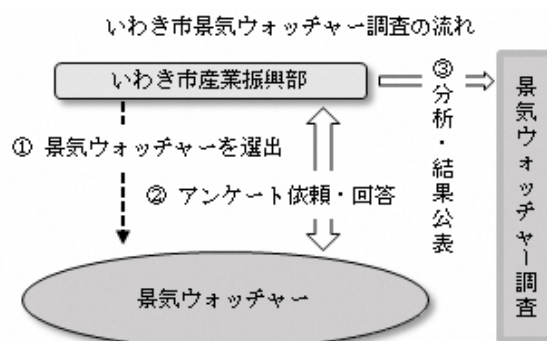
(3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

(4) 調査方法

いわき市産業チャレンジ課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業チャレンジ課と外部調査機関（株式会社システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業チャレンジ課が原則として調査の翌月に公表する。



(5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりD Iを算出する。

D Iは50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3カ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
回答区分	先行き判断 (3カ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票（令和 年度第 回）	
令和 年 月 日	
ご回答者	
ご所属・お名前 _____ 様	
あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。	
該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。	
【質問1】 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
【質問2】 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【質問3】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、2～3ヵ月先は、今月より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
【質問4】 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】 	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業チャレンジ課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 7 4 7 6 (直通)
e-mail : sangyochallenge@city.iwaki.lg.jp
